

トヨタ車体、ダカールラリー開幕を1か月後に控え、 富士松中学校による激励会に参加

～生徒の皆さんからいただいた廃食油を力に連覇を目指す～

トヨタ車体株式会社(愛知県刈谷市 取締役社長:岩瀬隆広)のラリーチームである Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY(チームランドクルーザー・トヨタオートボデー 以下、TLC)は、2015年1月3日にアルゼンチン ブエノスアイレスからスタートするダカールラリー2015を前に、刈谷市立富士松中学校(愛知県 刈谷市)の先生・生徒約200名が集まり、行われた TLC 激励会に参加し、ダカールラリー2015での優勝を誓いました。

TLC は、前大会、3年ぶりの市販車部門優勝を果たし、優勝の原動力となった燃料には富士松中学校の生徒の皆さんをはじめ地域・従業員の協力で集めた廃食油を精製した BDF(バイオディーゼル燃料)を100%使用。TLC は、ダカールラリー2015においても BDF100%使用で参戦するべく、今回も富士松中学校などからランドクルーザー200をベースとするラリー車2台の参戦に必要な約8,000Lの廃食油を集めました。

今回の激励会では、TLC よりダカールラリーの過酷さと BDF で参戦する意義、生徒の皆さんから提供いただいた廃食油がラリーで使われるまでを説明。その後、サプライズで校庭に持ち込んだラリー車へ生徒による BDF の給油を行った後、デモンストレーション走行を行いました。前大会の市販車部門優勝ドライバーである三橋 淳が、校庭で砂煙をあげながら迫力ある走行を披露すると生徒からは大きな歓声と拍手が沸き起こりました。

TLC チーム代表の林 正敏(トヨタ車体 執行役員)からは、「生徒の皆さんの思いがこもった BDF に勇気もらいました。厳しいラリーを戦いぬき、必ず連覇を成し遂げて帰ってきます。」とお礼とともにダカールラリー2015に向けての決意を表明しました。

TLC は、富士松中学校の皆さんからいただいた応援旗に書かれた力強い激励と期待の言葉を力に、生徒の皆さんに笑顔と元気を届けるべく、ダカールラリー市販車部門の連覇を目指します。

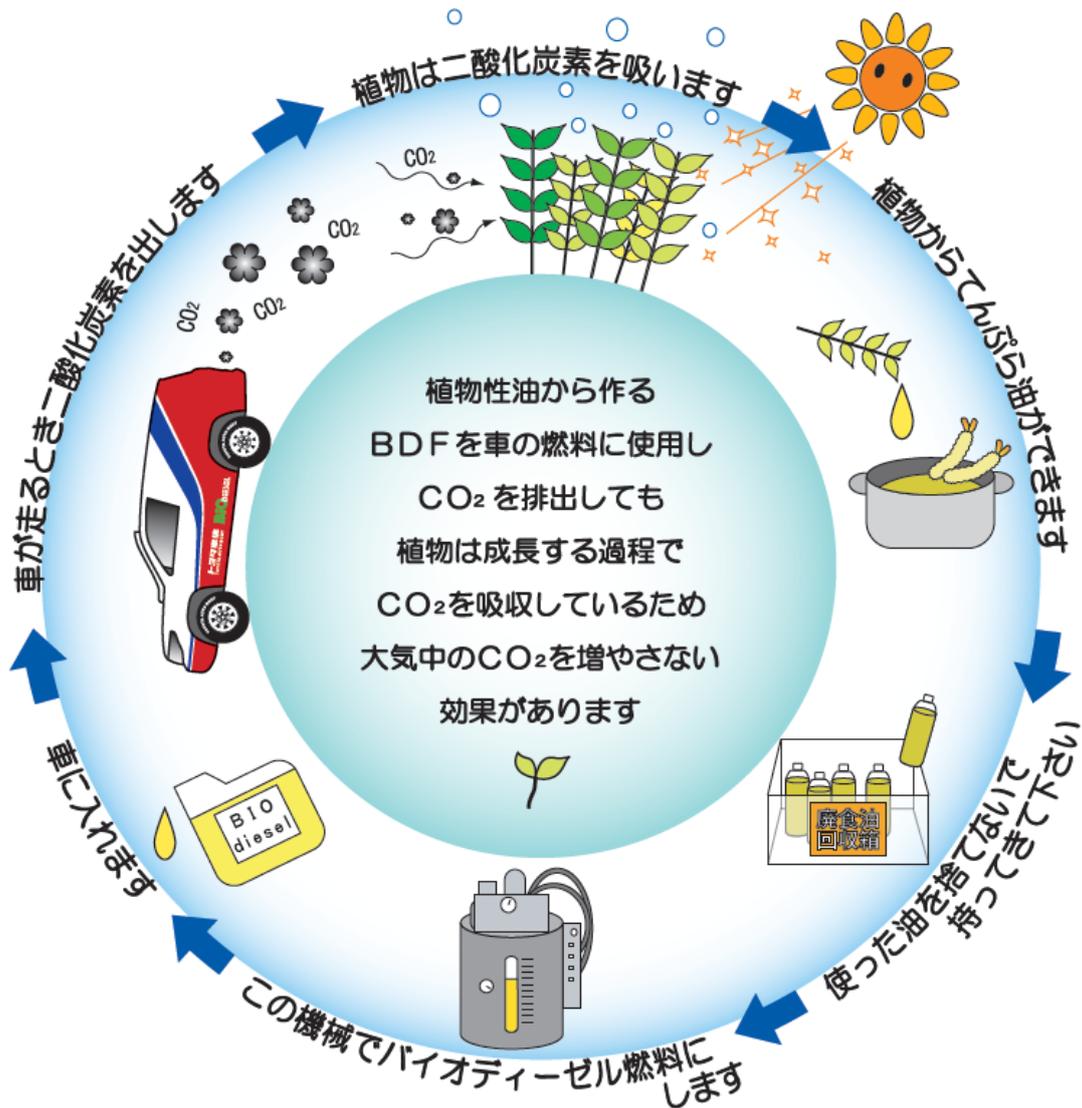
【富士松中学校激励会開催概要】

1. 日 時	2014年12月2日(火)	14:45～15:55
2. 場 所	刈谷市立富士松中学校	体育館・グラウンド
3. 出席者	富士松中学校校長 富士松中学校生徒 トヨタ車体 (TLC)	丹羽 宏行様 1年生生徒198名の皆さま チーム代表 林 正敏 (トヨタ車体執行役員) チーム監督 角谷 裕司 (トヨタ車体広報室) ドライバー 三橋 淳 ナビゲーター 三浦 昂 (トヨタ車体広報室)
4. 次 第	富士松中学校校長挨拶 TLC代表挨拶 参戦取組み紹介 応援旗贈呈 BDF給油実演 ラリー車デモラン	丹羽校長 林チーム代表 角谷監督、三橋ドライバー、三浦ナビゲーター 富士松中学校代表生徒 湯村 咲稀(ゆむらさき)さん 奥田 優衣(おくだゆい)さん 原田 花恋(はらだかれん)さん 富士松中学校代表生徒 塚本 康稀(つかもとこうき)さん 三橋ドライバー

【BDFでのラリー参戦の取組みについて】

当社は基本理念に「環境との調和」を掲げ、1993年に「トヨタ車体環境基本方針」を制定して以来、将来にわたり、豊かで住みやすい社会の実現を目指しています。「低炭素社会の構築」、「循環型社会の構築」ならびに「自然共生社会の構築」を柱に、環境と調和したクルマづくりを通じて、社会・地球の持続的な発展に寄与しており、ラリー活動においても廃食油から精製したBDFでの参戦を続けることでサステナブルな仕組みが広がっていくことを期待しています。また、原料となる廃食油の提供を、スポンサー会社や小中学校などの近隣地域の皆様ならびに従業員に協力いただくことで、チームへの応援を通じた一体感や誇りの醸成、クルマ好き・クルマファンづくりにつながることを目指しています。

(BDFでのラリー参戦による環境サイクルのイメージ)





富士松中学校1年生生徒の皆さんから
TLCへメッセージ入り応援旗が贈呈された



富士松中学校生徒の皆さんをはじめとする多くの
方の協力で完成したBDFをラリー車に給油



富士松中学校1年生生徒の皆さんに
三橋ドライバーによるラリー車走行を初披露



激励会に参加頂いた皆さんとの記念撮影